
開講科目名：行政法研究 （2単位）
開設年次：1年 2年
開設学部：法学研究科修士課程法学専攻
担当者：門脇 美恵

《授業の概要》

この科目は、行政法の基本的知識について、判例を素材として学ぶものである。具体的には、以下のテーマについて、講義と受講生による報告を組み合わせながら、検討していく（＊授業の状況により下記計画を一部変更する可能性がある）。

1. 授業計画

- 1 現代行政と行政法
- 2 行政法の基本原理
- 3 行政組織法と行政作用法
- 4 行政救済法
- 5 行政立法
- 6 行政計画
- 7 行政行為の意義と類型
- 8 行政行為の統制（立法・手続・司法審査）
- 9 行政行為の適法性要件
- 10 行政行為の効力
- 11 行政指導
- 12 行政契約
- 13 行政調査
- 14 行政の実効性を確保する制度
- 15 個人情報保護・情報公開

2. 評価方法

受講態度および報告により総合的に評価する。

3. 質問への対応

授業時間内、メールまたはオフィスアワー（犬山キャンパス研究室）において対応します。

《テキスト》

市橋克哉ほか『アクチュアル行政法【第2版】』（法律文化社、2015年）

《参考書》

石川敏行ほか『はじめての行政法【第3版補訂版】』（有斐閣、2014年）
岡田正則ほか『判例から考える行政救済法』（日本評論社、2014年）